



31

郷土を愛する子ども達

広洲小学校

広洲小学校は、明治6（1873）年に開校して以来、今年度で135年となる歴史のある学校です。

校歌の中に「鹿嶋の神のしずまれる森を朝夕仰ぎつつ・・・」「深谷の里の誇りなる広洲校の名も高し・・・」とあるように、歴史や伝統、郷土への誇りを感じさせるものが多々あります。

また、豊かな自然と温かな人情に満ちた地域をあげて子ども達を愛し育てようとする協力的な風土の中にある学校です。地域に根ざした学校として、地域の指導者による米作りや野菜作り、「鹿嶋はやし」伝承活動、PTAと一体になった親子環境整備作業、子ども育成の「深谷サークル活動」など、家庭や地域との連携のもとにつくり上げてきた独自の活動が多くあります。



▲ 鹿嶋はやし

特に「鹿嶋はやし」は、大太鼓、締め太鼓、横笛によるお囃子で、市の無形民俗文化財に指定されています。



「鹿嶋はやし保存会」の全面的な指導と協力のもとに、伝承活動を教育活動として位置付けて取り組んでいます。4月に行われる地域の伝統的祭典である「鹿嶋はやし山車祭り」には、6年生がお囃子を受け持ち、1年生から5年生までが華麗な山車と花車を引いて地域を練り歩きます。

この「鹿嶋はやし」にかかわる活動を通して、子ども達は、地域の伝統を引き継ぐことへの自覚や責任感を高めています。学校においても、よりよい伝統や校風づくりに子ども達の意識を高めるとともに、学校と家庭、地域の相互理解と協力関係を深めるよい機会となっています。

温かな地域の中で、子ども達は、明るく伸び伸びと育っています。今後、人や自然との触れ合いを大事にしながら、地域に親しみ、地域を理解し、そして郷土を愛する子ども達を育てていきたいと考えています。

今月の表紙から

伝統的な正月料理として「焼き八世」をだした仙台雑煮は、藩政時代、領内全域に広まっていたといわれます。しかし、今では一般家庭であまり見かけなくなりました。現在、焼き八世は、長面浦と松島湾で作られていて、今でも煙にあてて薫製の焼き八世を作っているのが、今回、取材した長面浦で三代にわたり作り続けている榎さんです。

焼き八世の製法は、早朝から漁に出て、とった八世を1匹ずつ竹串に通し、囲炉裏で火加減を見ながら約1時間焼きます。焼いた八世を束ねて天井につるし、1週間、いぶしながら乾燥させると、べっこう色に輝く香ばしい焼き八世の出来上がりです。薪火といふ作業で、身が締まって、うまみが凝縮され、だしの出がよいのが特徴です。

この焼き八世は、2005年に、スローフードジャパン（日本スローフード協会）の「味

の箱舟」に登録（日本からは9品目）されました。味の箱舟とは、いわば食の「世界遺産」で、大量生産による食の均質化を「大洪水」に例え、各地の伝統食材を「箱舟」に乗せて守ろうという運動です。

榎さんは「注文の電話や手紙などで『毎年焼き八世を迎えるお正月を楽しみにしています』と言われることが何よりうれしです。これからも身体が続く限り、皆さんに喜ばれたいです。」と話していました。



▲ ①とった八世を竹串に通す



▲ ②囲炉裏で焼く



▲ ③天井につるし、いぶす



榎 正吾さん・照子さん
(河北長面地区)



▲ はねこ踊り

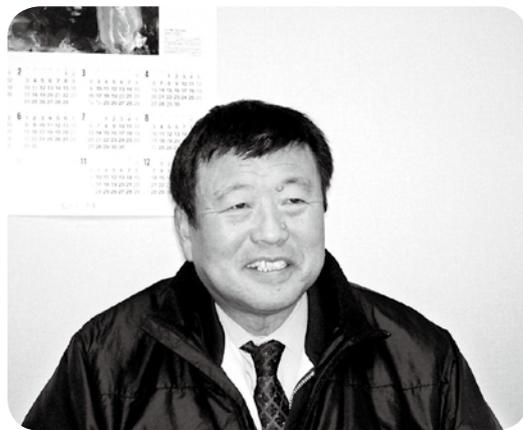
佐々木さんは、昭和40年10月に寺崎青年団に入団しました。そこで、江戸時代から伝わる「はねこ踊り」を地元行事や町で行われていた青年大会などで披露しながら、現在の「寺崎はねこ踊り保存会」の礎を築いていき、昭和42年4月に寺崎地区の有志や先輩方と一緒に「寺崎はねこ踊り保存会」を発足しました。

佐々木さんが青年団長を務めていた昭和44年には、町大会、県大会と勝ち進み、全国青年大会では、初出場ながら、優秀賞（第2位）に輝きました。これを契機

スポットライト ③

民俗文化財保護活動に尽力

桃生町寺崎地区にお住まいの佐々木一さん^{はじめ}を紹介します。



に青年団活動も活発となり、昭和52年には保存会の会長に就任、その後昭和58年、平成5年、9年、15年、19年と計5回全国青年大会へ出場し、そのすべてにおいてすばらしい成績を収めました。

これらの功績が認められ、宮城県文化財保護協会より文化財保護功労者として表彰されました。

「仲間や家族、地域の方々の協力によるもの、私だけの力ではありません」とお話しをする佐々木さん。

今後は、人材育成や後継者の確保に力を注いでいきたいと話していました。

知っていますか 石巻市の…

“紋章”

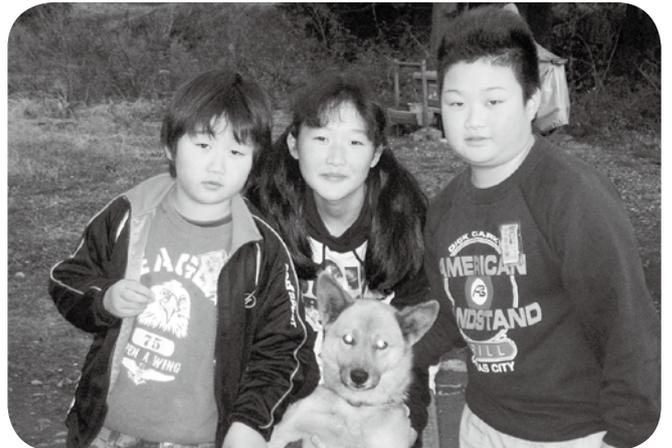
(平成17年4月1日制定)



石巻の石の字を図案化したもので、その中には、さん然と輝く太陽、清らかな月、夢をもつ星、この三つが丸く組み合わさっていて、夢と希望があり、発展へのたくましい躍進と市民全体の融和団結の姿が表されています。

にぎやか家族 ③

雄勝町雄勝



写真左から源秀くん、理乃さん、恭輔くん

《将来の夢》

遠藤 理乃さん (12歳) ハサミを持つ職人
 恭輔くん (10歳) 薬剤師
 源秀くん (7歳) 考え中

〈お母さんから〉

とてもまとまりのある兄弟です。これからも3人力を合わせ切磋琢磨していってください。

情報をお寄せください

「みんなの広場」は市民の皆さんが参加して、みんなでつくるコーナーです。

毎月、次のような方々を紹介しています。

自薦、他薦を問いませんので、情報をお寄せください。

- ・全国大会などで実績のある元気で明るい若者
- ・音楽、スポーツ、ボランティアなど活発なサークル活動をしている団体
- ・元気な高齢者
- ・仲の良い3人以上の兄弟姉妹

☎ 広報広聴課 (内線 211)